

取組の実施状況
(企業名：株式会社デファクトコミュニケーションズ)

(1) 介護と仕事の両立推進事業

1 相談窓口及び介護と仕事の両立相談員				
①設置日	令和2年10月1日	②設置部署	営業部	
③相談員	(氏名) 佐藤 寛			
2 介護と仕事の両立相談員が参加した研修会等				
①参加日	受講開始完了日 令和2年11月17日			
②名称	働きやすい職場環境づくりに関する研修課			
3 ニーズ調査				
①実施日	令和2年10月5日			
②方法	調査票を都内、全従業員に Slack にて展開			
③回収率	対象者(都内全従業員) 2名のうち回収数 2名 回収率 100%(回収数/対象者)			
④調査結果概要	<p>(調査により明らかになった課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現在の従業員の介護状況、介護対象者の有無について 従業員両名の両親においては高齢であり、今後介護が必要になってくる可能性が高いということが明らかになった。特に、両親と同居している従業員の場合、本人が長女であることを考慮するとその可能性が非常に濃厚である。 ● 今後の従業員の介護見込みについて 現状は介護の必要性はないが、近い将来でその可能性が十分にあることは把握した。また介護の質もある程度の重さになることが見込まれる。 ● 就業規則、規程内の介護関係制度に関する認知状況について 該当従業員に関しては、ほとんど知られていなかった。今回初めて、就業規則の該当部分の記載に関して周知したような状況。 ● 介護と仕事の両立に関する不安について 業務的に顧客と対面でやり取りすることも多いため、そうなると介護と仕事の両立というのが難しいという意見をもらった。 ● 介護が続いた場合の望ましい働き方及び社内制度について テレワークを活用し、不要な場合は対面作業ではなく、非対面で完結する作業に切り替えることで従業員の「介護と仕事の両立に関する不安」を取り除く必要があると認識した。 			
4 プロジェクトチームの設置及び運営状況				
①設置日	令和2年10月14日			
②メンバー	総計 3名(うち都内勤務の従業員 2名) (メンバー内訳)			
③運営状況	開催日	開催時間	検討内容	参加者数
	10月2日	10:30~12:00	活動の内容とスケジュールを確認した	3名
	10月19日	11:00~12:00	調査結果の概要と取組案の提示	3名
	11月11日	16:30~17:00	取り組みの原案についての討論と決定	3名
5 策定した取組計画(内容及び取組時期)				
令和2年11月~ 定期的な個人との面談を執行(年2回程度) 令和3年2月~ 介護と仕事を両立させる研修を行う(年2回程度)				
6 社内研修				

①日時	令和2年11月19日 9時30分～11時
②参加者	対象（都内全従業員）2名のうち2名が参加
③内容	<p>[1]調査結果等説明（都が定める様式を用いて説明） 時間 9:30 ～ 9:45 説明者（部署・役職）代表（氏名）高橋 大樹</p> <p>[2]研修会情報提供 時間 9:45 ～10:15 説明者（部署・役職）営業部（氏名）佐藤 寛</p> <p>[3]社内制度等の周知（内容は別添資料のとおり） 時間 10:30～10:50 説明者（部署・役職）営業部（氏名）佐藤 寛</p> <p>[4]その他（ 時間 10:50～11:00 説明者（部署・役職）代表（氏名）高橋 大樹</p>
④欠席者への周知	<p>（欠席者） 0名に対して資料配布</p> <p>（完了日） 年 月 日</p>
7 計画等の社外発信	
<p>（発信日） 令和2年11月27日</p> <p>（発信方法） 自社ホームページに掲載</p>	
8 取組の成果	